

【事務事業シート】

1

当初

事 項	防災士活躍促進事業費							予算主管課		防災危機管理課			
事 業 概 要	地域社会（自主防災組織等）において防災活動の中心的役割を担う防災士を養成して共助を促進するとともに、平時から、地域の防災関係者の連携を促進するネットワークの強化やスキルアップを通じ、防災士の活躍促進と地域防災力の更なる向上を図る。							始期	2014				
								終期					
K P I	人口10万人当たりの防災士認証登録者数												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	1740 人		目標値	1914 人		目標値	2088 人			
	実績値	人		実績値	1724 人		実績値	1962 人		実績値	人		
	ストック /フロー	ストック		達成率	99.1 %		達成率	102.5 %		達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	21,745 千円		最終現計 予算額	21,077 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円
決算額			19,105 千円		決算額	21,001 千円		決算額	千円		決算額	千円	

6
年
度

要因分析	要因											
	総括											
見直し方向性	維持	令和6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、令和7年度以降の状況を踏まえると、KPIは目標達成を考えると考えられることから、令和7年度の執行方法や令和8年度予算の見直しは想定していない。										

2

当初

事 項	南海トラフ地震津波対策推進事業費							予算主管課		防災危機管理課			
事 業 概 要	南海トラフ地震による津波から住民を守るため、宇和海沿岸市町において夜間の対応を含む津波避難対策を強化するとともに、被災後の地域の迅速な復旧・復興につながる事前復興の取組みを促進する。							始期	2023				
								終期	2025				
K P I	宇和海沿岸の津波避難訓練実施率												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	50 %		目標値	75 %		目標値	100 %			
	実績値	%		実績値	45.6 %		実績値	75.7 %		実績値	%		
	ストック /フロー	ストック		達成率	91.2 %		達成率	100.9 %		達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	165,310 千円		最終現計 予算額	109,455 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円
決算額			155,402 千円		決算額	86,072 千円		決算額	千円		決算額	千円	

6
年
度

要因分析	要因											
	総括											
見直し方向性	維持	引き続き、夜間津波補助事業の早期執行に努めるほか、同事業を実施しない地区における訓練実施を促すため、南予局事業による学区単位での一斉訓練や、市町防災訓練に際しての訓練実施など市町と連携した働きかけを通じて目標を達成可能と考えられることから、7年度の執行方法の見直しは想定していない。										

9月補正

9	事 項	可搬型衛星インターネット通信機器整備事業費						予算主管課	防災危機管理課				
	事 業 概 要	能登半島地震では、大規模な通信障害が発生したことから、発災時に災害対策本部が設置される県庁舎の迅速かつ効果的な通信環境整備のため、能登半島地震で活用された通信衛星と直接通信が可能な高速・大容量の可搬型衛星インターネット通信機器を整備する。						始期	2024				
								終期					
	K P I	整備進捗率											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	%	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%		
		実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%		
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%		
	コ ス ト	最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	9,632 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円	
		決算額	千円		決算額	7,816 千円		決算額	千円		決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因											
		総括 当初の計画通り、7台（本庁に2台、地方局支局に各1台）の配備を行い、災害発生時や訓練での活用している。											
	見直し方向性												

10

9月補正	事 項	広域避難施設収容能力等調査事業費						予算主管課	防災危機管理課		
	事 業 概 要	南海トラフ巨大地震等の大規模災害時における市町をまたぐ広域避難では、避難先の確保等が困難となり、県主導での調整が必要となる場合が想定されることから、円滑なマッチングが可能となるようデータベースを作成し、広域避難の受入れが可能な宿泊施設を確保する。						始期	2024		
								終期	2024		
	K P I	ホテル等での広域避難受入可能人数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	人	目標値	11000 人	目標値	人	目標値	人
		実績値	人	実績値	人	実績値	27284 人	実績値	人	実績値	人
		ストック/フロー	ストック	達成率	%	達成率	248 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	5,775 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	5,701 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因									
		総括 広域避難に必要なホテル等のデータベースが完成し、最大27,284人の受入れ先を確保することができた。今後は、広域避難に係る国のマニュアル作成を踏まえ、県のマニュアル作成を進める。									
	見直し方向性										

11

9月補正	事項	水循環型シャワー等整備事業費								予算主管課		防災危機管理課	
	事業概要	能登半島地震では、ライフラインの断絶により避難所等での生活用水の確保に課題が生じたことから、避難所等での生活環境の維持・改善のため、国の自主点検レポートにおいて有効な新技術とされている水循環シャワー等を整備し、市町の整備促進に向け、普及啓発を行う。								始期	2024		
										終期	2024		
	K P I	水循環シャワー機器等の導入市町数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	20 %	目標値	20 %	目標値	%	目標値	20 %		
		実績値	%	実績値	5 %	実績値	6 %	実績値	%	実績値	%		
		ストックフロー	ストック	達成率	25 %	達成率	30 %	達成率	%	達成率	%		
	コ ス ト	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	7,554 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円				
		決算額	千円	決算額	7,341 千円	決算額	千円	決算額	千円				
6 年 度	要因分析	要因 本事業によって整備される水循環型資機材は令和6年1月の能登半島地震により、有効性が示された物品であり、当該年度中の全20市町の整備完了までには相応の時間がかかるため。 なお、国の地方創生にかかる交付金の充当対象となっており、今後の整備加速化が期待できる。											
		総括 本事業は令和6年度9月補正予算により実施した単年度事業であり、市町への水循環型手洗い器及び屋外シャワーセットの導入を支援するべく、県においてモデル的に同資機材を整備したものであるが、国の新型補正予算を受けて、市町における資機材整備が加速している。											
	見直し方向性												

12

当初、2 月補正	事 項	消防防災ヘリコプター運営管理費								予算主管課		消防防災安全課	
K P I	事 業 概 要	消防防災ヘリコプターの運航及び防災航空事務所を管理する。								始期		1996	
										終期			
	稼働可能日数												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度	目標値	280 日	目標値	250 日	目標値	280 日	目標値	250 日			
	実績値	250 日	実績値	280 日	実績値	259.5 日	実績値	日	実績値	日			
	ストック フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	103.8 %	達成率	%	達成率	%			
コ ス ト		最終現計 予算額	407,038 千円	最終現計 予算額	344,007 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円				
		決算額	396,172 千円	決算額	341,079 千円	決算額	千円	決算額	千円				
6 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	令和6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、令和7年度以降も現在行っている整備を続けていけば、KPIは目標達成すると考えている。										

13

当初

事 項	消防活動推進事業費							予算主管課		消防防災安全課		
事 業 概 要	地域防災の中核を担う消防団の充実を図るため市町と連携した消防団員の確保対策の実 施や、消防功労者の表彰等により、地域の消防力の確保及び消防活動の推進を図る。							始期				
								終期				
K P I	消防団員充足率の前年度比											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	-0.3 %		目標値	-0.2 %		目標値	-0.1 %		
	実績値	-0.44 %		実績値	-1.45 %		実績値	-0.97 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	-483.33 %		達成率	-485 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	25,165 千円		最終現計 予算額	26,266 千円		最終現計 予算額	千円		
決算額			22,242 千円		決算額	24,863 千円		決算額	千円			

6 年 度	要因分析	<u>要因</u> 消防団員充足率は団員数/条例定数で算出。R5年度はR4年度から団員数が△307人だったが、条例定数が据え置きであったため、充足率自体は△1.45%となっている。R6年度は、R5年度から団員数が△272人であるが、条例定数は△75人であったため、充足率が下がることとなった。									
		<u>総括</u>									
	見直し方向性	改善	6年度の目標達成率が想定より低調であったため、7年度の執行においては、市町の消防団担当者を集め、消防団員確保対策をテーマとしたアイデアソンを実施し、効果の見込める対策の立案と意識の高揚を図り、更なる成果の向上につなげる。								

14

6月補正	事 項	消防団広域連携強化事業費							予算主管課		消防防災安全課		
	事 業 概 要	能登半島地震等を踏まえ、災害時の救助救出活動等非常に重要な役割を果たしている消防団が大規模な災害を想定し、東予・中予・南予の各地域を超えた県下全域での広域連携訓練を実施することで、災害に対応する応急活動体制の強化を図る。							始期	2024			
									終期	2026			
	K P I	東予・中予・南予の地域を超えて訓練を実施した市町数											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	市町		目標値	6 市町		目標値	13 市町		
		実績値	市町		実績値	市町		実績値	17 市町		実績値	市町	
		ストック フロー	ストック	達成率	%		達成率	283.3 %		達成率	%		
		コ ス ト		最終現G1 予算額	千円		最終現G1 予算額	2,000 千円		最終現G1 予算額	千円		
	決算額			千円		決算額	2,000 千円		決算額	千円			
6 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	R6年度のKPIの実績は想定以上の成果が出ており、R7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、R7度の執行方法等を大幅に見直すことは想定していない。										

5

9月補正	事 項	高機能工アーテント整備事業費								予算主管課		消防防災安全課	
	事 業 概 要	能登半島地震等を踏まえ、県内で大規模災害が発生した際に、広域連携により被災地入りした支援部隊が長期にわたる支援活動を万全の体制で実施できるよう、国の自主点検レポートでも有効とされる高機能工アーテントを整備することにより、支援部隊の活動環境強化を図る。								始期	2024		
										終期	2024		
K P I	高機能工アーテントでの支援隊員収容可能人数												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	人	目標値	58 人	目標値	人	目標値	人			
	実績値	人	実績値	人	実績値	73 人	実績値	人	実績値	人			
	ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	125.9 %	達成率	%	達成率	%			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	50,100 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円			
決算額			千円	決算額	24,476 千円	決算額	千円	決算額	千円				
6 年 度	要因分析	要因 本県所有の工アーテントを5式購入したことにより、目標は達成できた。											
		総括 県内でも少数の消防本部しか所有していない高機能工アーテントを5基整備し、県外からの支援部隊に十分な活動環境を提供できる体制を整えることにより、本県の災害対応力の一層の強化を図ることができた。											
	見直し方向性												